

ぼうけんの森



少年自然の家事業の推進に向けて

所長 中村 光男

平成28年4月に、本所の所長として赴任し、4年が過ぎました。振り返りますと地域のご支援・ご協力や職員に支えられ、様々な課題を乗り越え、定年を迎えることができ、感謝の念に堪えません。

さて、この四年間の事業を振り返りますと、平成30年度から新たに実施した親子お泊り体験教室が定員を大きく超える応募が続いていることやプラネタリウムの公開に合わせた夜間星空観測を新たに実施し好評だったこと、応募数が定員を大きく超えた夏のキッズキャンプを金～日の開催から土日に変更したうえで2回実施し多くのニーズに対応したことなど、子どもたちの自然体験活動や親子で自然に触れ合う活動へのニーズの高まりを感じています。

そして、今年は歴史的な暖冬です。2月に入ってから雨が降っておりました。平成28年以前の積雪が、概ね2mを観測するなか、着任してからは1m～1.3mの積雪でしたが、今年度は、2月11日に42cmの降雪が最大でした。そのような中、アルペンスキーを目的とした小学校など数校がキャンセルするのみで、ほぼ例年並みの学校の利用がありました。しかし、土日の一般利用は激減です。それでも、少ない雪の中、様々な工夫をしながら遊ぶ子どもたちの姿が見受けられました。冬季の自主事業も予定を大幅に変更し実施しましたが、職員の創意工夫もあり、好評でした。夏季や秋季の自主事業も概ね定員を超える応募が今年度もありました。事業アンケートからは、野外活動の必要性に対する保護者の理解が浸透していることと併せ、根強い需要を感じているところです。参加してよかったと感じられるように、職員が日々行っているプログラムの工夫、改善などが成果を生んでいるものと、感謝しているところです。

自主事業の一番の目玉は「少年団」活動です。33回を数える歴史ある事業ですが、毎年定員を超える応募が続いています。保護者で小学生ときに少年団に参加していた方がいたり、帰省した大学生が当時に懐かしみボランティアとして参加したりしたことなどがありました。自然の家の事業に参加することで、「自分が成長できた」という思いを今も持っているということが、大変うれしく、また、責任を感じているところです。

ぜひ多くの人に、自然の家を取り巻く自然環境の豊かさを感じて欲しいと願うと共に、感受性豊かな子どもの時代の内に、仲間と共に自然と触れ合い、貴重な実体験を得られる場として、今まで以上に自然の家を活用して欲しいと願っております。

自然の家

の活動～

青空の下

春の野山に出かけよう!

可愛くできたよ! 春の野花で花束づくり

どこまで飛ぶかな? 紙ヒコーキ飛ばし

春

うららかな春、草花が一斉に芽吹き、山は若草の香りに包まれます。
暖かな陽気に弾む心を詰め込んで、ちょっと遠くまでお散歩に。
緑の原っぱを駆け、鮮やかな草花に触れて、春の自然を満喫できます。

夏

大きな**友情の炎**を囲んで
歌ったり踊ったり…
神秘的な炎は
暗闇を そして 私たちを
明るく照らしてくれます。

キャンプ
ファイヤー

大勢の仲間とつながって滑るとスリル満点のチューブ滑り。

自作したり滑るコースを探したりするのも楽しいそり滑り。

動物の足跡や植物の芽などを探しながら
雪の上を散策するラングラウフスキー。

冬の自然の家ならではの楽しみです。

おいでよ ～四季折々

一面に積もった雪の上で

思いっきり体を動かそう

そり滑り

チューブ滑り

冬



豊かな秋を



草木染め



五感で楽しむ

木の実細工



自然散策



彩り鮮やかな木々に包まれる秋
様々な形の木の实などを探しに行き
自然の中にある隠れた色で染めてみたり
飾り付けてリースを作ってみたり...

足早に過ぎる秋だからこそ
みつけた秋を作品として残してみたくになります。



第3期少年団

大自然の中で仲間と
繰り返しチャレンジ

少年団は、山形市内の4年生による年7回の連続した研修です。

第1回
仲間や自然と出会う



第2回
火を使うよさを体験する



第3回
自然の雄大さを感じる



第4回
課題を乗り越え自分や仲間のよさに気づく



第5回
炊飯でくらしをつくる



第6回
冬の厳しさ・楽しさを体験する



第7回
成長をふり返る



親は、自分の知識や経験から、初めから危険のない正しいやり方をさせたいと思い、つつい手を出したり、口を出したりしまいがちです。そのせいで、せっかくのチャンスを奪ってしまっていたように思います。先生方のお話から、時には手や口を出さずに見守り、あえて失敗も経験させて、そうならないためには…と自分で考えさせることが本人のためになるのだと気づかされました。

～保護者の声より～

他の学校のお友達と苦難を共に、感動し、協力し、悩み考え、実体験から学校や家庭で気づくことができないことも子どもの中に吸収されたものと思います。責任をもって役割を果たすことや、相手のことを思いやること、「やれるんだ!」という自信が出てきたように思います。

心配していた体調管理と仲間との協力も、少し悩みつつも自分で考え行動していたようです。楽しい企画が盛りだくさんで、ハードな内容と思っても、4年生は乗りこえられるものだなあと感心してしまいました。この体験が、子ども達の自信とこれからの基礎として必ずいきると思っています。

主催事業 紹介

秋祭り

令和2年度は
9/6(日)の予定です。
ぜひ遊びに来てください！

フラネタリウム上映



秋祭り午前の部の目玉♪
フラネタリウム鑑賞☆彡
夏と秋の星や星座を紹介します。

特製芋煮販売



自然の家特製芋煮販売！
1杯300円！買った後はテントの中で
食べることができます(〜)

輪ゴム鉄砲作り&射的



新登場！ 輪ゴム鉄砲作り&射的
割りばし2膳、輪ゴム6個で
簡単に輪ゴム鉄砲ができます！
コップが倒れたら駄菓子が
もらえるよ(〇〇)/



クラフト体験



サービスセンター館内でリース作り、
木の実細工作り、ペンダント作り、
サービスセンター館外では草木染め
体験ができます！
ぜひ親子で作ってみてください。

外での催し物



外での活動も充実！秋祭りでしか
できない竹ぼっくり、バートゴルフ、
ディスクスラックアウトなど、秋空の下
で思い切り体を動かせるよ。



令和2年度『主催事業』の予定

市内から集まる同じメンバーで
1泊2日の研修を年7回実施

第34期 少年団

「主体性」「人とかわる力」
「リーダー性」が高まります

【期 日】 ①5/23(土)24(日) ②7/4(土)5(日) ③8/8(土)9(日) ④9/26(土)27(日) ⑤10/17(土)18(日) ⑥1/9(土)10(日) ⑦2/20(土)21(日)
【定 員】 小学4年児童 42名 ※できる限り7回の研修会に参加できる方に限ります。但し、土日が授業日の場合は「学校優先」になります。
【活動内容】 季節に応じた魅力的な自然体験活動や少年団でしかできない貴重な協働体験活動を数多く企画します。
【募集期間】 令和2年 3/1～4/30 広報やまがた3/1号掲載

夏

親子お泊まり体験教室

【期 日】 5/30(土)～31(日) 1泊2日
【定 員】 小学1,2年児童の親子 25組程度
【内 容】 親子で自然散策、親と離れて宿泊体験、親子で炊飯活動(カレー作り) など
【募 集】 4/15～5/12 広報やまがた4/15号掲載

わくわくキッズキャンプ ①・②

【期 日】 ①: 6/20(土)～21(日) 1泊2日
②: 6/27(土)～28(日) 1泊2日
※①、②のどちらかを選択してください。
【定 員】 小学3,4年児童 42名
【内 容】 炊飯活動、キャンプファイヤー など
【募 集】 5/1～6/2 広報やまがた5/1号掲載

わんぱくサマーキャンプ

【期 日】 7/25(土)～26(日) 1泊2日
【定 員】 小学4年～中学3年 42名
【内 容】 食材探しオリエンテーリング、テント泊、炊飯活動、ナイトハイキング など
【募 集】 6/1～7/7 広報やまがた6/1号掲載

プラネタリウム一般公開 ①

【期 日】 6/7(日)
【定 員】 幼児・小学生以上の部 各70名(先着)
【内 容】 生演奏を交えて、春・夏の星座の話や宇宙の神秘を紹介します。
【募 集】 5/7～6/4 広報やまがた5/1号掲載

森の昆虫見つけ隊

【期 日】 7/18(土)・7/19(日)・7/26(日)から選択
【定 員】 小学3年～中学3年までの親子 各30名(先着)
【内 容】 オニヤンマやトノサマバッタ等を採集し、その後、専門家より標本づくりを学びます。
【募 集】 6/1～7/2 広報やまがた6/1号掲載

◆ボランティアスタッフセミナー

【期 間】 5/9(土)～10(日)
【対 象】 自然の家の事業に興味のある大学生
【内 容】 ・ボランティアスタッフの役割(講義)
・施設見学
・実技研修 など

秋

冬

自然の家『秋祭り』

プラネタリウム一般公開 ②

【期 日】 9/6(日)
【定 員】 どなたでも参加できます。
【内 容】 プラネタリウム、クラフトコーナー、おいしい秋コーナー(芋煮、焼き芋) など
【詳 細】 広報やまがた8/15号掲載

プラネタリウム一般公開 ③

【期 日】 10/25(日)
【定 員】 幼児・小学生以上の部 各70名(先着)
【内 容】 生演奏を交えて、秋・冬の星座の話や宇宙の神秘を紹介します。夜の星空観察会も行います。
【募 集】 9/1～10/6 広報やまがた9/1号掲載

わくわくキッズキャンプ ③

【期 日】 2/6(土)～7(日) 1泊2日
【定 員】 小学3,4年児童 42名
【内 容】 自作そりづくり、ラングラウフスキー、手作りアイスクリーム など
【募 集】 12/15～1/19 広報やまがた12/15号掲載

親子そば打ち道場

【期 日】 11/1(日)
【定 員】 中学3年までの親子 20組
【内 容】 竹を使ったMy箸・Myそば猪口づくり、そば打ち、そば試食会 など
【募 集】 9/15～10/13 広報やまがた9/15号掲載

わんぱくウインターキャンプ

【期 日】 12/19(土)～20(日) 1泊2日
【定 員】 小学4年～中学2年 42名
【内 容】 アイスブレイク、門松作り、雪上オリンピック など
【募 集】 11/1～12/1 広報やまがた11/1号掲載

◆自然の家 ゲレンデ OPEN

【期 間】 1/6(水)～3/7(日)
【閉所日】 1/12(火)・2/15(月)・3/1(月)は休み
【内 容】 ・そり(各自持参ください)
・チューブ(無料貸出をします)
・スキー(各自持参・ロープトウ無料)
・ラングラウフスキー(小中学生無料)
【詳 細】 広報やまがた12/1号掲載

ポード等
滑走禁止

指導者を対象とした「利用指導者講習会」

◆小中学校・幼稚園・保育園の先生方…夏期:4/17(金) 秋期:8/4(火) 冬期:11/6(金)

◆子ども会等の指導者の方々…5/17(日)

山形市少年自然の家 所報 第45号

「ぼうけんの森」

令和2年3月発行

住 所 〒990-0361 山形県東村山郡山辺町大字畑谷字板橋 3725
電 話 【本館事務室】 023-643-8533 FAX 023-643-8574
【サービスセンター】 023-643-8633
URL <http://www.ymgt.ed.jp/shizennoie>